022510	義務教育延長即時断行！：これぞ国策中の国策	天草平八郎	言語	2	56	28
022511	斯く国際スパイは暗躍する：スパイされた日本外交官	大川惣一	言語	2	56	28
022512	軍部の寸描	鶴橋聞天	言語	2	56	28
022513	ソ聯の横顔	鶴橋聞天	言語	2	56	28
022514	老獪英国を暴く	鶴橋聞天	言語	2	56	28
022515	加藤内閣弾劾論：財閥政治と民心の悪化	金子力三	言語	2	56	28
022516	国民軍事教育論：非国民的軍事教育反対論を駁撃す	金子力三	言語	2	56	28
022517	国難に直面して敢て七千万同胞に訴ふ	金子力三	書	2	56	28
022518	哲人政治の高調：如何に日本は甦生する	金子力三	言語	2	56	28
022519	憲本聯盟の批判：歴史は斯く大道を説く	金子力三	言語	2	56	28
022520	天皇中心政治論：敢て議会中心論者に誨ふ	金子力三	言語	2	56	28
022521	東京市政改革論：今や真に市民覚醒の秋	金子力三	言語	2	56	28
022522	時局縦横録	金子力三	言語	2	56	28
022523	革新か現状維持か：総選挙に際し野の遺賢の出現を待望す	飯塚勇	言語	2	56	28
022524	愛国婦人会より見たる婦人を対象とせる社会事業	三浦精翁	言語	2	56	28
022525	陸軍の智脳九人男：次代陸軍を背負ふ人々	菅原節雄	言語	2	56	28
022526	政権は誰が動かすか：日本政界の内幕次期政権は誰が握るか	菅原節雄	言語	2	56	28
022527	陸軍の巨頭を語る：粛軍に立つ人々	菅原節雄	言語	2	56	28
022528	宇垣より林へ	菅原節雄	言語	2	56	28
022529	板垣征四郎と石原莞爾：陸軍の中心人物・革新の巨星	菅原節雄	言語	2	56	28
022530	日本はいつソ聯を撃つべきか	松尾友太	言語	2	56	28
022531	生活安定の書：金持共通の型と条件	清水安彦	言語	2	56	28
022532	わが子をいかに教育すべきか：我が子を知る法	清水安彦	言語	2	56	28
022533	戦時経済と貯蓄論：何故この八十億が必要か	小泉孝吉	言語	2	56	28
022534	英国の全面的敗退と米国の参戦	小泉孝吉	言語	2	56	28
022535	戦争製造者を語る	小泉孝吉	言語	2	56	28
022536	空軍の重大性	小泉孝吉	言語	2	56	28
022537	国防に関する現内閣総理大臣への進言：公開書	綾野惟一	言語	2	56	28
022538	大衆課税は何故悪いか	山葉三助	言語	2	56	28
022539	軍事探偵血闘史	高倉晃	言語	2	56	28
022540	太平洋に伸びる列強の耳目	高倉晃	言語	2	56	28
022541	列国は日本をどう見る	秋月正雄	言語	2	56	28
022542	“覆面将軍”柳川平助は何をした？	西江清正	言語	2	56	28
022543	戦略から見た徐州大会戦	佐古文男	言語	2	56	28
022544	国際聯盟組織と其法律上の性質	北野豊次郎	書	2	56	28
022545	国際聯盟組織と其法律上の性質	北野豊次郎	言語	2	56	28
022546	何故に斉藤隆夫君は懲罰に附せられたる乎	栗山力	言語	2	56	28
022547	最新岡田催眠学	岡田喜憲	書	2	56	28
022548	外地の婦人生活と結婚	鳥居義太郎	言語	2	56	28
022549	政友会罪悪史	安藤音三郎	書	2	56	28
022550	原内閣罪悪史	安藤音三郎	言語	2	56	28
022551	神国日本から神洲東亜へ	安中昌信	言語	2	56	28
022552	有利職業	天野正善	言語	2	56	28
022553	紀念絵葉書聚録	金田晴正	言語	2	56	28
022554	紀念絵葉書聚録	藤井栄次郎	言語	2	56	28
022555	皇室に関する記念絵葉書目録	藤井栄次郎	言語	2	56	28
022556	紀念絵葉書聚録	藤井栄次郎	言語	2	56	28
022557	産業組合独裁王千石興太郎を裸にする	山野三吉	言語	2	56	28
022558	産業組合の独裁王千石を裸にする	山野三吉	言語	2	56	28